

年度末報告書（認定 NPO 法人フードバンク山梨）

- 提出日 : 2023年3月30日
- 事業名 : 山梨県下における包括的なフードバンク支援体制構築事業
- 資金分配団体 : 公益財団法人パブリックリソース財団
- 実行団体 : 認定 NPO 法人フードバンク山梨

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
(1) 新たな中核的フードバンク（山梨フードバンクセンター）が設置され、県内ネットワークのハブとなっている	①当法人以外の連携・地域フードバンクの数	15 団体	2024年3月末	8 団体	3
	②山梨FBセンター（拠点施設）の設置・運営	設立し、運営を円滑に継続	2024年3月末	2022年11月完成、運営中	2
	③事務局・有給職員	12 人	2024年3月末	12 人	2
	④研修（テーマ別）の実施回数	2回/年×4テーマ=8回/年	2024年3月末	広報2回、地域FB支援2回、他団体主催参加7回	2

	⑤フードバンク I T システムの構築	構築・運用開始	2024 年3月末	センターでの寄贈受付 時に運用中	2
(2) 地域ネットワークが形成 され、構成団体との連携・協議 が行われている	①山梨フードバン ク・ネットワークに 参加する市町村数	子どもの貧困対策連携協定・締結 市町村：12	2024 年3月末	11市町村	2
	②ネットワークに参 加する社協の数	社会福祉協議会：20	2024 年3月末	13社協	3
	③ネットワークに参 加する企業・団体N PO法人等の数	企業、団体、NPO等：30	2024 年3月末	企業212社	1
	④ネットワーク会議 の開催回数	8回/年(2回(部会毎)/年× 4部会)	2024 年3月末	4回	3
(3) 食品・物品を届けられる 地域が拡大し、支援できる世帯 が増え、供給量が増加	①当法人以外の連 携・地域フードバン クの数	15団体	2024 年3月末	8団体	3
	②子どもの貧困対策 連携協定・締結市町 村数	12市町村	2024 年3月末	11市町村	2
	③人材育成研修(地 域FB運営、相談支 援等)	8回(4テーマ×2回/年)	2024 年3月末	広報2回、地域FB支 援2回、他団体主催参 加7回	2
	④フードバンク I T システムの構築	構築・運用開始	2024 年3月末	センターでの寄贈受付 時に運用中	1

地域ネットワークに自治体の福祉課等や社会福祉協議会等が含まれ、連携している	(No.2の指標(行政関係)と同じ)	(No.2の①、②と同じ)	2024年3月末	11市町村15社協	3
(4)中核的フードバンク(山梨フードバンクセンター)の食品・物品の調達量の増加(含・食品ロス削減量の増加)	①大口企業からの寄贈量(パレット単位)	224トン/年	2024年3月末	108トン	3
	②個人・団体・一般企業からの寄贈量	176トン/年	2024年3月末	122トン	3
(5)中核的フードバンク、及び連携する地域フードバンクにおける資金調達額の増加	資金調達額(合算)	100,000,000円(2023年度)	2024年3月末	73,208,023円	2

*進捗状況：1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
3.課題がある
2.アウトカムの状況
A:変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input checked="" type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.(任意)活動に関する報告
(1)中核的フードバンク ①地域フードバンク 2022年度2団体が追加され、8団体となった。2年目となり、団体独自のカラーが出てきている。これまでに備品等を提供したり、助成金情報の提供、活動を通しての課題の共有を行った。 ・提供備品：台車、秤、オリコン、ラスティーナパレット、スチール棚(希望する団体のみ)

・11/4 地域フードバンク団体へ立上げ準備金振込（10万円、希望する団体のみ）

	子どもサポートやまなし	地域総合子ども家庭支援センター・テラ	協力団体ふじざくら	ぐんないや-織syoku-
特長	・会場配布 120世帯 ・学校や家庭、友達、進路等の悩み相談に対応。病氣や依存症、貧困DVひとり親、国籍等の問題を抱え子育てが大変になっている家庭の方と一緒に歩みながらお手伝い。	・会場配布 40世帯 ・児童福祉法第44条1の2に基づいた児童家庭支援センターで、山梨県内では唯一、県の認可を受けて運営	・会場配布 42世帯 ・居酒屋からベーカリーに業種転換 ・独自に企業寄贈を開拓 ・菜園の野菜を提供 ・健康科学大学生への呼びかけ	・会場配布 66世帯 ・耕運機の副住職が代表 ・都留文科大学と協働 ・地域食堂事業（つるっ子食堂） ・フードバンク事業 ・教育・居場所支援事業
写真				

	富士の緑とフードサポート	よりそい北社	にららん	虹の谷
特長	・会場配布 133世帯 ・富士北麓の福祉活動として子育て家庭（生活困窮者等）を応援 ・富士吉田市役所、忍野村役場、商工会議所、高等学校と連携	・会場配布 8世帯 ・子育て世帯と高齢者世帯の地域コミュニティづくり（市民農園） ・ひとり親世帯への自家製の米5kgを毎月配布。 ・子育て世帯への野菜配布（不定期）	・会場配布 25世帯 ・葦崎市内の子ども食堂、食を通して地域の人々がつながる場所	・会場配布 36世帯 ・新規団体 ・毎月第4日曜に子ども食堂開催
写真				

⑥ 山梨県内、行政との連携や地域FB拠点エリア

現在11自治体と連携

2023年までの目標
支援数:4,000世帯
食品取扱量:400トン
地域フードバンク数:15団体

現在の地域フードバンク8団体

- ① 協力団体ふじざくら（富士河口湖町）
- ② NPO法人ぐんないや-織syoku-（郡留市）
- ③ 特別協賛の法人富士の緑とフードサポート（富士吉田市）
- ④ よりそい北社（北社市）
- ⑤ にららん食堂（重崎市）
- ⑥ NPO法人子どもサポートやまなし（甲府市）
- ⑦ 地域総合子ども家庭支援センター・テラ（甲府市）
- ⑧ NPO法人虹の谷（甲府市）

8 

② 山梨フードバンクセンター

5/9に地鎮祭を執り行い、11月末に完成。12月上旬に移転し、12/22に開所式を行った。フードバンクとして初めて、冷蔵冷凍庫を備えた自前の大型倉庫が完成したことが報道された。

建設工程 スケジュール (2022年8月現在)	
時期	内容
5月9日	地鎮祭
6月	擁壁工事
7月5日	プレハブ事務所、仮設トイレなど設置
7月7日	U字溝、透透機設置
7月20日	浄化槽設置（建物南側）
7月25日	本体基礎工事開始
9月下旬	外壁内装工事 足場設置
～11月中旬	本体ほぼ完成予定
～11月末	外構工事：入口の側溝、敷地全体の砕石など
12月中旬	行政による完成検査

新山梨フードバンクセンター建設の状況

5月9日 地鎮祭を執り行い、工事の無事を祈願しました



7月中の様子：仮設事務所設置、側溝及び基礎工事



敷地面積：2,919㎡ 建物面積：570㎡
建設費：ファンドレイジング 9,000万円



④ 研修

・2023年1/27 マイファーム主催 全国フードバンク視察研修



・2023年2/10 JANPIA ファンドレイジング研修 (Zoom)

内容：①非営利活動・ソーシャルビジネスの経営基盤について、②ファンドレイジングの4つの軸について（ソーシャルコンセプト、理念構築と浸透、ファンドレイジング企画、広報&WEBマーケティング）

・2023年3/2 食支援活動をステップアップする情報交換会～冷凍食品のロスを利用する～ (Zoom)

今後の冷蔵冷凍食品寄贈量拡大に向けて、フードバンクかながわ様の取り組みを学んだ。

(2) 地域ネットワーク

④ ネットワーク会議

・4/6 ボランティア部会

14人のボランティアさんが参加し、①感謝状のお渡し ②利用者の方からのお声紹介 ③センター建設についてのご説明とご協力をお願い ④意見交換を行った。日ごろの活動から感じた意見があり、改善や意思疎通が図られた。



感謝状贈呈



センター建設について説明



活動風景



・4/26 行政部会：「フードバンクこども支援プロジェクト」連携機関会議 (Zoom)

2022年度フードバンクこども支援プロジェクトの実施方法について内容を共有し、2021年度フードバンク山梨の活動を報告した。



連携機関名：南アルプス市教育委員会、中央市教育委員会生涯教育課、都留市教育委員会、山梨市福祉課、笛吹市生活援護課、大月市教育委員会、上野原市教育委員会、身延町教育委員会、山中湖村教育委員会、昭和町教育委員会、北杜市役所、食のセーフティネット事業連携機関（身延町社協、昭和町社協、市川三郷町社協、上野原社協、中央市社協、都留市役所、山梨市役所、笛吹市役所、南アルプス市役所）

・7/15 山梨フードバンクネットワーク活動報告会

会場：山梨県地場産業センターから Zoom

内容：①コロナ禍におけるフードバンク山梨・活動の現状、地域フードバンク活動紹介（2団体）、②新・山梨フードバンクセンターの建設と寄附募集、について報告・意見交換を実施

参加者数：48人、参加団体：37団体（やまなしライフサポート、地域総合子ども家庭支援センター・テラ、NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆう、高齢社会を克服する会、一般社団法人暮らしの基盤事業団、身延町役場、北杜市役所、山梨大学、生活協同組合ユーコープ、生活協同組合バルシステム山梨、ジャパコールドチェーン株式会社、野村ホールディングス株式会社、株式会社メディアブレイン、株式会社エヌディエス、山梨県信用組合協会、富士ミネラルウォーター株式会社、株式会社ササキ、ジブラルタ生命保険株式会社甲府支社、小林製薬株式会社、ダイドードリンコ株式会社、株式会社内藤ハウス山梨営業所、武藤株式会社、株式会社サンポー、株式会社新和運輸、株式会社さわかみホールディングス、株式会社正直堂、昭和総合警備保障株式会社、株式会社いちやまマート、東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社、NPO法人フードバンクネットワーク西埼玉、甲府北ロータリー、法務省甲府保護観察所、有限会社山梨検査センター、公益財団法人パブリックリソース財団、NPO法人ぐんないや-織syoku-、特例認定NPO法人富士の緑とフードサポート*

取材3社：株式会社テレビ山梨、朝日新聞、山梨日日新聞



・2023年2/1 地域フードバンク情報交換会

自団体の活動紹介や、これまでの活動を通しての課題・改善点、要望などの意見を交換した。

地域フードバンク情報交換会

参加団体(五十番順)
 NPO法人くまのや〜蔵ayokuri 地域総合子ども家庭支援センター
 NPO法人くまのや〜蔵ayokuri NPO法人くまのや
 NPO法人くまのや〜蔵ayokuri NPO法人くまのや
 認定NPO法人フードバンク山梨 特別認定NPO法人富士の緑とフードサポート
 認定NPO法人フードバンク山梨 山梨県フードバンク協議会(Zoom参加)
 文庫・協力団体「ふじざくら」よりきい北社

日時：2023年2月1日 14:00-16:00 会場：山梨フードバンクセンター会議室
 認定NPO法人フードバンク山梨



(2) 課題・改善点など ①

NPO法人くまのや〜蔵ayokuri
 ・活動開始当初はなかなかいい人が集まらず、活動内容も定まりず、ホームページの作成、活動報告も充実させていく必要あり
 ・寄付者募集活動の開始に、活動者募集している人と情報がない現状があるため、支援対象者に、食品製法の提供も知ってもらうことにもなりたい
 ・現状では食品の寄付が多いので、食品の取り扱い、衛生管理、種類(自然栽培のトマト食品など)も多岐にわたって考えていきたい

地域総合子ども家庭支援センター
 ・対象と書かれていない食品と受取があるため7本ほどは返却を必要としているご家庭への届出の取立てが難しい

協力団体「ふじざくら」
 ・食品寄付が伸び悩んでいるため、管理する場所の確保が必要となった。

(2) 課題・改善点など ②

NPO法人富士の緑とフードサポート
 ・活動開始のための運営資金の確保
 ・事業運営開始時の人手不足、協力者の輪を広げる活動

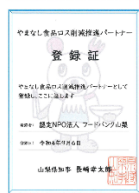
よりきい北社
 ・食品配布時期に必要とする物資(フードバンク山梨の情報が無い)
 ・22年12月22日(水)に「ははまキッズ」集上の性別経費を届出(赤字が協力費要領)
 ・届出の経費は赤字、届出は赤字(赤字の経費、収支報告書)がほとんど、届出不足
 ・連絡先(0551-42-1401)
 ・よりきい北社が寄付の受付料自給のための「市民活動サポート」づくり

地域との連携

- 7/2 日本青年会議所関東地区大会 蕪崎北杜大会にブース出展→後日(7/19)寄付につながった。



- 9/6 フードバンク山梨は食品ロスの削減に取り組む団体として、山梨県から『やまなし食品ロス削減推進パートナー』に登録された
- フードバンク山梨(きずなBOX 継続中、(株)いちやまマート14店舗とJA南アルプスのAコープ2店舗)
- 富士の緑とフードサポート
 - ①6, 7月フードドライブ、215kg、②4月きずなBOXスタート(セルバ4店舗)
- 協力団体「ふじざくら」
 - ①フードドライブ(富士観光開発(株)3箱等)、②富士吉田市役所(野菜)



(3) 支援世帯



⑨ 年末緊急支援：物価高騰に対し集中的に支援 (2,131世帯)

- 11/19～26 乳幼児応援プロジェクト (227世帯)
乳幼児を育てる方へ、食品・ミルク・おむつ・日用品を提供
- 12/19～23 フードバンク子ども支援プロジェクト (906世帯、子ども1,767人)
学校の長期休暇中の子育て世帯
- 12/20～27 山梨県生活困窮世帯緊急食料支援 (998世帯)
*月2回の食料支援継続中 (2023年3/10は、過去最高数の211世帯に発送)

・4/22～4/24 乳幼児応援プロジェクト (227世帯)

コロナ禍による減収の影響や、食料品・ガソリンの値上げで、子育て中の生活が苦しくなっていることが心配された。フードバンク山梨と地域フードバンク団体は、ミルク・おむつ・食品を無料で提供し、子どもの健やかな成長を応援した。今回初めてお菓子のつかみ取りを行い好評だった。



今回、24時間受取ができる「ロッカープロジェクト」も実施。百々事務所前に設置し、感謝の声も寄せられた。



小さい子どもがいる家庭で多く
の生活必需品の助けになりました。
列島のついでに春先のやみ雨もなくなり
人々の生活も安定しているのを目に感じず
安心して生活している姿がうれしく
感じています。おかげさまで
主としておむつの配布もはかばか
と行われており、おかげさまで
食料や日用品も不足ありません。
引き続きお世話になります。
いつかは希望も実現したいです。
主としておむつも大切にします。
無事2学期も迎える予定です。

・7/19、8/4 フードバンク子ども支援プロジェクト (7/19 869世帯、8/15 888世帯)

コロナ禍・物価高騰の中でも家庭でいろんな工夫しながら、楽しく仲良く過ごしていただきたいという想いを込めて「わたしちのフルーツポンチキット」を企画。親子で作ったフルーツポンチの写真を送ってもらい、相互交流の機会とした。



・12/19 フードバンクこども支援プロジェクト（906世帯）

12月の冬休みで給食のない期間に就学援助を受給しているなどの対象の906世帯に対して食品送付。箱いっぱいの食品と、お子さん1人につき1000円分の食事ギフトカードを同封した。今回は、これまでの最多数の906世帯、1767人のお子さんへ支援した。



・2023年2/11 第9回つながるスマイルプロジェクト：前日大雪のため、日時を変更する会場もあった。

開催日時	配布会場（地域フードバンク7団体とフードバンク山梨会場で手渡し）	総支援世帯
------	----------------------------------	-------

2023年2月11日(土)
15日、26

NPO 法人ぐんないや-織 syoku、NPO 法人子どもサポートやまなし、よりそい北杜、フードバンク山梨、特例
認定 NPO 法人富士の緑とフードサポート、協力団体ふじざくら、NPO 法人にららん♪、NPO 法人虹の谷

459 世帯



年末緊急支援

・山梨県内在住で、コロナ禍や物価高騰で影響を受けた世帯に食品箱を配送。
内容：米 5 kg、缶詰、レトルト食品、菓子類、乾麺、紙パック飲料、切り餅等

災害支援

・9/26 台風・豪雨被害 山梨県中央市役所と共に静岡県静岡市のフードバンク団体へ保存水を提供



留学生支援

・6/7 ユニタス日本語学校（甲府市）：対象数 300 人。提供品：①米（5 k g）②コーヒー牛乳（400 ケース）1 トン③タオル（600 枚）④ウェットティッシュ（300 個）5 ケース⑤水 1.5 リットル ペットボトル（10 箱以上）⑥各種パンなど。



地域FB（抜粋）

- ・よりそい北杜
 - 5/10～ 「やまなし大武川農場」から、ほうれん草寄贈スタート。地域の母子家庭グループ6世帯と連携あり。
- ・富士の緑とフードサポート
 - 4/28 団体訪問し倉庫確認
 - 8/19～21「夏休みの子育て家庭を応援」事業（100世帯、会場で受け取り）
- ・協力団体「ふじざくら」
 - 5/14 独自支援
 - 6/18-20 食品配布会（15世帯、母子家庭や独居高齢者、収入減の外国人に提供）



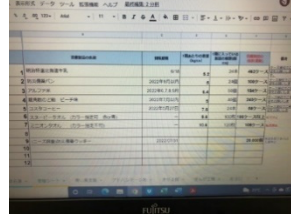
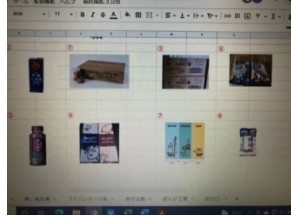
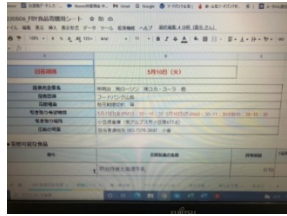
富士の緑とフードサポート 倉庫状況



ふじざくら 食品配布の様子

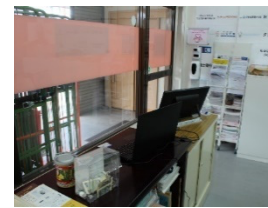
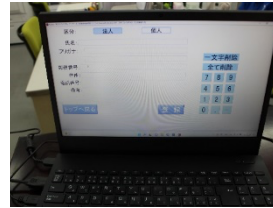
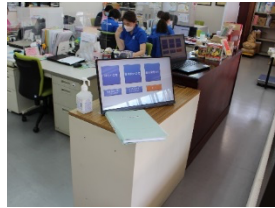
登録施設一斉配布

5/6 に実施。グーグルフォームで事前に登録施設に情報を流し、希望数量と引き取り日時を入力。調整後、確定情報を通知するシステムを構築した。



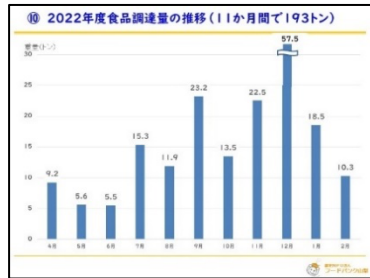
④ フードバンク IT システム

これまで紙媒体での記録から PC での受付に変更した。



(4) 食品調達量

食品取扱い量が過去最大の 193 トンとなった。センター移転後の 12 月に企業からの大口寄贈受入れを積極的に行い、12 月単月では 57.5 トンに達した。冷蔵冷凍食品の取扱いが始まり、センターの食品保管能力は約 70 トンを見込む。このため次年度は、目標の 400 トンを目指して活動する。



フードドライブ

- ・ 6/1~6/30 夏のフードドライブ
- ・ 10/16~11/5 冬のフードドライブ

寄贈量：11 トン。1つの福祉課、11の社会福祉協議会、地域フードバンク2団体（協力団体「ふじざくら」、「富士の緑とフードサポート」）が期間限定で食品受付拠点として連携している。



企業寄贈

県内外からの寄贈を受入れた。



全国企業例：4/2 株式会社明治



3/27 株式会社ヤクルト



山梨県内企業例：6/15 株式会社シャトレーゼ（菓子）



冷蔵冷凍食品寄贈

センター内にプレハブ冷蔵庫と冷凍庫を設置した。断熱BOXと保冷剤を用意し、ハイエース型の冷蔵冷凍車も用意し、配布会場への運搬に活用する。今後は冷凍冷蔵食品の食品ロス削減に注力し、寄贈量の拡大を図る。

* 助成事業購入品：冷蔵庫、冷蔵冷凍車

冷凍食品のロス削減を目指し、新たに冷蔵庫・冷凍庫を設置



2023年2月 冷蔵冷凍車を配備、保冷ボックス用意



1/30 パルシステム山梨（新潟県大雪のため配達できなかった食品）



3/14 株式会社シャトラーゼ（アイス165箱寄贈）





2/24 山梨県・JA山梨中央会（県内酪農家支援として寄贈。要冷蔵1ℓ牛乳800本。他に県産肉も直接配送）

防災品寄贈

9/21 身延町役場より保存水寄贈（寄贈品は9/26の災害支援で活用）



（5）資金調達

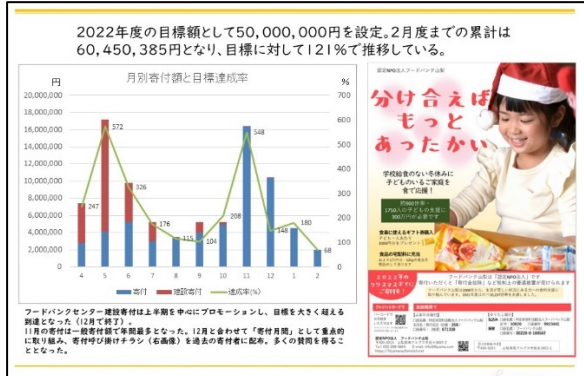
寄付金額は、年間で7,300万円を超えた。上期はセンター建設寄付の呼びかけに注力した。更に寄付月間を設けて集中的に支援を呼びかけた。また、HPに寄付ページを作り、寄付金控除をわかりやすく説明した。その結果、会員数は、「正会員55、賛助会員61、特別法人会員122」となり、法人寄付274、建設寄付250件であった。

2月までの寄付金額**60,450,385円** 対目標(5千万円)比121%



フードバンクセンター建設寄付は上半期を中心にプロモーションし、目標を大きく超える到達となった(12月で終了)。

11月の寄付は一般寄付額で年間最多となった。12月と合わせて「寄付月間」として重点的に取り組み、寄付呼び掛けチラシ(右画像)を過去の寄付者に配布。多くの賛同を得ることとなった。



フードバンク山梨は認定を受けたNPO法人です

例えば月2,000円で1年間支援すると

24,000円

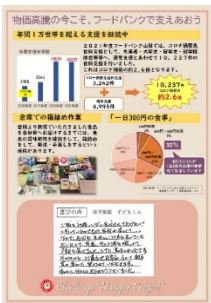
8,800円

認定NPO法人
フードバンク山梨

センター建設資金は、クラウドファンディングと独自の寄付活動で用意

- ・山梨フードバンクセンター建設にご協力戴き、10万円以上かつ同意した皆様のお名前を芳銘板とHPで披露した。
- ・クラウドファンディング「GoodMorning」
プロジェクト名：「コロナ禍で急増する困窮者と子ども達を救いたい！新山梨フードバンクセンター建設」
2022-02-18に募集開始し、98人の支援により、2,509,000円の資金を集め、2022-05-08に募集を終了
ビデオ作製【「ご協力をお願いします」子どもたちに食の支援を続けるために必要なこと【山梨フードバンクセンター建設】】
(<https://www.youtube.com/watch?v=6ol78meW-c0>)

- ・8月～9月 夏の寄付月間『物価高騰の今こそ、フードバンクで支えあおう！』開催
- ・12月 冬の寄付月間「分け合えばもっとあったかい～給食のない冬休みに子どものいるご家庭を食で応援！～」



建設説明会資料

完成した芳名版

夏の寄付チラシ

冬の寄付チラシ

企業団体寄付（抜粋）



4/28 富士急行株式会社



6/8 都留組

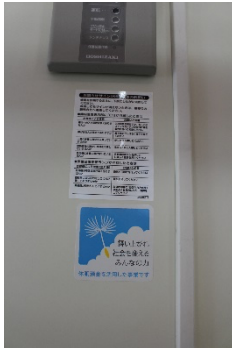


6/23 株式会社クロスフォー

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している
 - 広報制作物に表示している
 - 報告書に表示している
 - イベント実施時に表示している
 - その他
- 「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：購入備品に表示



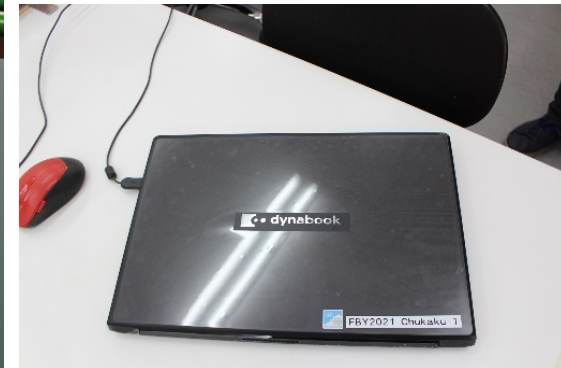
2 坪プレハブ冷蔵庫：ドア横と室外機に表示



冷蔵冷凍車



ラスティーナパレット



ノートパソコン

2. 広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

【テレビ・ラジオ】（UTY:テレビ山梨、YBS:山梨放送）

日時	放送局	内容
2022/04/13	YBS	アンケート結果記者会見
2022/04/13	UTY	アンケート結果記者会見
2022/4/22	NHK 甲府	NOP「フードバンク山梨」乳幼児いる世帯にミルクなど提供へ
2022/4/27	NHK 甲府	ウクライナから避難の2人 山梨大学とNPO法人が支援
2022/04/27	UTY	「ウクライナにいる両親のことを毎日心配」避難の兄弟 山梨大学とフードバンク山梨が受け入れ
2022/4/28	F M富士	Bumpy【CLOSE UP TODAY】アンケート調査結果で公表1日300円未満の食費
5月某日	NHK	アンケート調査結果について
2022/07/14	NHK 甲府	センター建設
2022/707/19	FM 富士	韮崎北杜青年会議所 寄付金贈呈式
2022/08/09	UTY	甲府市の宝飾メーカーのクロスフォーが夏休み中の生活支援にとフードバンクに食料などを寄付
2022/08/20	日本テレビ	「世界一受けたい授業」で子どもの貧困を取材
2022/08/25	NHK 甲府	8/10取材
2022/09/01	NHK 全国	「おはようにつぼん」フードバンク活動
2022/09/01	テレビ朝日	「報道ステーション」物価高騰で食品寄贈減少
2022/9/16	UTY スゴろく	「寄付いただける食品が減ってしまって」物価高生活困窮者を助けるフードバンクにも影
2022/09/20	NHK ニュース	食料支援のNPO 市民や学生などに無料で食料を配付
2022/10/04	NHK ニュース	物価高が直撃 苦境のフードバンク
2022/10/12	NHK ラジオ	物価高騰
2022/10/28	NHK ラジオ	「NHK ジャーナルクロス」物価高・円安、どう乗り切る？

2022/11/29	YBS ニュース	深刻さ増す困窮世帯の状況
2022/11/29	テレビ山梨 スゴろく	お菓子の詰め合わせ約 41kg を山梨トヨタ会がフードバンク山梨に寄贈
2022/12/19	NHK ニュース	山梨フードバンクセンター開所式
2022/12/19	YBS ニュース	山梨フードバンクセンター開所式
2022/12/19	UTY	山梨フードバンクセンター開所式
2022/12/27	YBS	「給食がない冬休みに役立てて」料理関係者がフードバンクに食料品を提供
2023/01/27	NHK ニュース	全国のフードバンク団体「フードバンク山梨」視察 南アルプス
2023/02/07	NHK ニュース	新電力会社 収益の一部をフードバンクに寄付 困窮世帯を支援
2023/02/07	UTY	電気料金の売り上げの一部をフードバンク山梨に 地域新電力が寄付

【新聞記事】

日時	新聞名	掲載内容・掲載タイトル
2022/04/14	山梨日日新聞	食費 1 日 300 円未満 32%
2022/04/15	朝日新聞	コロナ禍「食費削った」が 8 割
2022/04/16	毎日新聞デジタル	一日の食費「1 人 300 円未満」が 3 割 山梨、支援受ける子育て世帯
2022/4/21	アットプレス (デジタル)	調査結果公開食費 1 日 1 人当たり 300 円未満 32%という実態が浮き彫りに
2022/04/26	山梨日日新聞	キーウから山梨に避難 兄弟 2 人山梨大など支援
2022/04/28	山梨日日新聞	避難の兄弟 支援に感謝
2022/04/28	読売新聞	避難兄弟 官学民で支援へ
2022/04/28	毎日新聞	避難の 2 0 代兄弟支援
2022/05/02	朝日新聞	ウクライナ避難民県内初の受け入れ
2022/05/03	毎日新聞	子どもの学習支援 学校、家以外の「居場所」を (清水そらさん)
2022/05/04	産経新聞	一日の食事代 300 円未満が 3 割
2022/05/05	SankeiBiz	山梨の困窮子育て世帯 食事代 1 日 300 円未満が 3 割超

2022/06/11	山梨日日新聞	フードバンク山梨 夏休支援へ
2022/07/07	朝日新聞	2022 参院選 食料寄付昨年の 25%
2022/07/07	山梨日日新聞	生活困窮「教育の格差生む」
2022/07/13	山梨日日新聞	子育て世帯へ食料支援 笛吹市夏休み控え発送
2022/07/13	山梨日日新聞	フードバンクに集めた食品寄贈 パルシステム山梨
2022/07/20	山梨日日新聞	余剰食品を募りフードバンクへ 中央市職員互助会
2022/07/24	山梨日日新聞	フードバンクの支援状況を説明 甲府で活動報告会
2022/08/04	山梨日日新聞	韮崎北杜 JC123 万円を寄付 フードバンクに
2022/08/06	山梨日日新聞	フードバンクにカップ麺寄贈 ネットトヨタ山梨
2022/08/12	朝日新聞	死に場所探し、山梨へ 生活苦 NPO に助け求める電話多数
2022/08/12	朝日新聞	来月、無料食料を配布 フードバンク山梨 失業者・学生対象に
2022/08/28	山梨日日新聞	ことば案内『フードドライブ』
2022/09/09	山梨日日新聞	ミニクーパー新車発表会 フードドライブ実施
2022/09/18	山梨日日新聞	困窮学生に食料配布 フードバンク物価高騰で支援
2022/10/19	山梨日日新聞	学習支援学生どう継ぐ 県内で活動 1 年 3 ヶ月 100 人超参加
2022/10/28	山梨日日新聞	「山日と私」社会を変える力実感
2022/11/08	山梨日日新聞	冬休みの食料支援を 困窮世帯向け募る
2022/11/14	JA.com 農業協同組合新聞	貧困対策 基本法に位置づけを (農政審査基本法検証部会)
2022/11/17	山梨日日新聞	フードバンク山梨支援世帯調査 「収入 10 万円未満」 4 割超
2022/11/18	山梨日日新聞	フードバンクへ集めた食料贈る 損保ジャパンなど
2022/12/14	山梨日日新聞	食料支援団体援助へ 県補正 340 億円台
2022/12/20	山梨日日新聞	フードバンク山梨保存庫完成 生鮮食品受け入れ可能に
2022/12/20	山梨日日新聞	フードバンクに非常用食品贈る NTT 東日本山梨支社

2022/12/24	山梨日日新聞	三井住友海上が食品10キロ寄贈 南ア・フードバンクに
2022/12/25	山梨日日新聞	フードバンクに備蓄品寄贈 ネットトヨタ山梨
2022/12/27	山梨日日新聞	フードバンクに食品80キロを寄贈 全日本司厨士協会県本部
2022/12/28	山梨日日新聞	クリーニング志村 フードバンクに募金4万円寄付
2023/01/14	山梨日日新聞	知事選 ひとり親「資格あれば」経済的自立への支援望む
2023/02/03	山梨日日新聞	パルスシステム冷凍食品寄贈 南ア・フードバンクに
2023/02/14	読売新聞	物価高騰 困窮世帯に支援
2023/03/07	山梨日日新聞	集めた寄付金をフードバンクに 住友生命保険山梨支社

【視察・研修受け入れ】

日時	団体名	参加人数
5/30	フードバンク宇都宮	3
6/6	フードバンクとくしま	3
8/16	東京都板橋区公明党会派視察	10
10/25	山梨県新任職員研修	50
10月～継続中	専門家派遣 フードバンク奈良	3
12/9	株式会社バローホールディングス	5
12/15	株式会社コロワイド	3
2023/1/13	日立製作所	5
2023/1/27	株式会社マイファーム フードバンク先進県の山梨で視察研修	40

2.広報制作物等

- 各種チラシ：第8回・9回つながるスマイルプロジェクト、夏・冬のフードドライブ

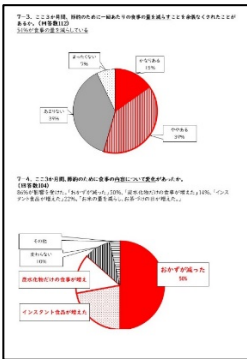
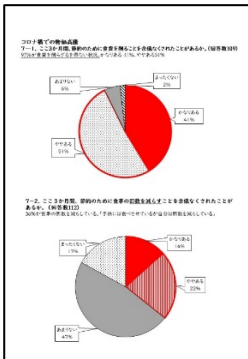
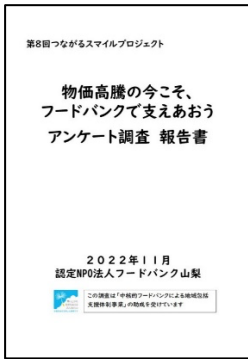


- 報告書：第8回フードバンク子ども支援プロジェクト「保護者アンケート調査報告書」「子どもアンケート調査報告書」
- イベント横看板：シンボルマーク表示



3.報告書等

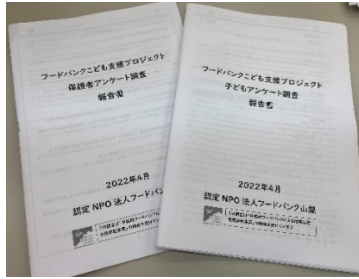
- 4/13 「フードバンク子ども支援プロジェクト保護者アンケート調査報告書」「フードバンク子ども支援プロジェクト子どもアンケート調査報告書」：2021年12月のフードバンク子ども支援プロジェクト利用者へのアンケート調査を実施。法人として初めて子どもへの調査を実施した。
- 7/5 フードドライブに関するアンケート票発送（269機関）：SDGs、課題工夫した点等を調査。
- 11/16「第8回つながるスマイルプロジェクト 物価高騰の今こそ、フードバンクで支えあおうアンケート調査報告書」



・2023/3/24 第10回つながるスマイルプロジェクト アンケート調査：物価高騰が続く中での生活状況を把握し、今後の支援にいかすことを目的に実施。

4. イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

- ・4/13 記者発表「フードバンク子ども支援プロジェクトアンケート調査報告」
 報道機関：山梨放送、テレビ山梨、山梨日日新聞社、産経新聞社
 報告書の詳細はHPで公開 (<https://fbyamana.fbmatch.net>)



添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）



4/26 行政部会（Zoom）



2023年2/1 地域FBネットワーク会議



3/29/2023 センターの様子

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input checked="" type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：整備が整わず、2023年5月に公開予定
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：変更なし

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIAの窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：二月に一度の理事会で事業進捗報告をしている。
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：